

平成18年度(2006年度) 建設コストの計画と実績

[単位: 百万円(消費税込み)]

道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績) (B)	(B)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
山陰自動車道鳥取益田線 (宍道JCT～斐川IC)新設事業 4.6km	16,698	15,356	1,342	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯事業や工事に伴う家屋補償といった事業損失補償等の残事業を平成19年度に引続き実施する必要があり、差額が生じている。
近畿自動車道松原那智勝浦線 (堺TB、平井TB、堺IC、岸和田和泉IC、岸和田TB)改築 事業	1,103	988	115	現地精査の結果、擁壁設置に伴う掘削方法や舗装厚の見直し等により、差額が生じている。
山陽自動車道吹田山口線 (広島東IC)改築事業	777	322	455	現地精査の結果、標識配置、防草対策や環境植栽の見直し等により、差額が生じている。
中国横断自動車道尾道松江線 (宍道IC)改築事業	502	223	279	関係機関との協議の結果、工事用道路補修範囲や軸重計設備の配置計画の見直し等により、差額が生じている。
四国横断自動車道阿南中村線 (三豊鳥坂IC)改築事業	60	18	42	完成時期が早まったことによる間接費の見直し等により、差額が生じている。
東九州自動車道 (北九州JCT～苅田北九州空港IC)改築事業	1,071	419	652	工事完了に伴い、事業損失補償(家屋損傷等)箇所の確定等により、差額が生じている。
高速自動車国道中央自動車道西宮線等 平成18年度修繕事業	28,350	16,785	11,565	工事の発注規模の見直しによる複数年度工期設定に伴う機構引渡し時期見直し等により差額が生じている。
一般国道31号(広島呉道路) 平成18年度修繕事業	215	118	97	詳細点検の結果、健全度再評価等による補修実施時期の見直しにより、差額が生じている。
一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路) 平成18年度修繕事業	43	3	40	詳細点検の結果、健全度再評価等による補修実施時期の見直しにより、差額が生じている。
一般国道201号(八木山バイパス) 平成18年度修繕事業	22	6	16	詳細点検の結果、健全度再評価等による補修実施時期の見直しにより、差額が生じている。
高速自動車国道中央自動車道西宮線等 災害復旧事業	30,307	1,008	29,299	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定しており、結果的に平成18年度は、H17台風14号及びH18梅雨期豪雨で被災した箇所の復旧工事の一部のみであったことにより、差額が生じている。

注1)平成18年度(2006年度)に債務引受け契約を行ったものをすべて記載している。

注2)単位未満切捨て